

## 編集後記

暖かな春の日、復活の主イエスから来る光が教会を照らしています。しかし世の中には、この光から心をそむけ、暗闇ばかり見ている人も多いにちがいありません。紙芝居礼拝をなさった沖田さんは、最近、メッセージ集「神のパンの宅配便」を出されました。その中で、「ワタシたちが神さまのなかに生き動き存在していることを自覚しないのは、空気のなかに生きていながら空気を意識しないのと同じです」と書いておられます。誰もが自分が今ここに生きていることの根源に心を向け、世の光、主イエスに浴する恵みが与えられることを願います。（井上 豊）